

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	高等学校等修学支援事業		
事業担当	学校教育部 学務課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'05	5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する	
根拠法令等	平塚市教育委員会高等学校等修学支援金規則		
対象・受益者	高等学校等に通学する生徒	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： _____】		
目的・目標		事業の概要	
勉学に意欲的で経済的な支援が必要な者が、高等学校等において修学する機会を得ています。		高等学校等における修学支援を行うため、修学支援金を支給します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	修学支援金支給人数				単位	人
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	122	149	162	176		
	実績	122	146	162			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	修学支援生卒業率				単位	%
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標	100	100	100	100		
	実績	100	99.32	97.82			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
勉学に意欲的で修学することに経済的な支援が必要な生徒に修学支援金を支給しました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	経済的理由により高等学校等に修学することが困難な者に対して、修学の機会を与えることは必要です。申請件数は多く市民ニーズは高いと考えられます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	勉学に意欲的な高校生等が経済的理由で修学機会が無くなるよう事業を継続して行なう必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	目的に合った事業を実施しており、他の事業による代替は不可能です。平成22年度から公立高校の授業料無償化等が開始されたことから23年度は支給月額を見直しました。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	返還義務のない奨学金の充実が求められています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		平成21年度に受けた指定寄付を原資に、平成23年度(平成24年度修学者分)まで給付者人数を拡大して実施しました。給付は3年間にわたり行うことから、引き続き事業を継続していきますが、今後の事業のあり方について検討を行う必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		奨学金の支給	奨学金の支給	修学支援金の支給	修学支援金の支給
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	15,372	18,354	13,496	14,784
事業費 (A)		15,372	18,354	13,496	14,784
執行率 (%)		100.00	97.76	99.18	
内訳	職員 (人)	0.30	0.30	0.30	0.30
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		2,507	2,478	2,432	2,405
フルコスト (A+B)		17,879	20,832	15,928	17,189

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	平塚市教育委員会高等学校等修学支援金規則により事業を継続して実施するとともに、今後の事業のあり方について検討を進めます。
課長コメント	国の施策で公立高校授業料の無償化が実施されましたが、修学を継続するためには授業料以外の支援も必要であることから、事業の継続が必要と考えます。